

## 大日～P784m 地形図「三方」

ポンポン山雑感

2021年10月4日

三鍋敏郎

大日は随分長い間気になっていた山である。以前は天増川上流域に通行止めの鎖があり、集落の漁業組合のおばちゃんに頼めば鍵を開けてくれて、車で林道を源流域まで行けたので随分楽が出来たのだが、現在登山者の車で入渓は拒否されている。

相田集落のデンヨウ電気の敷地内に登山口が有るが、関係者以外進入禁止の立て札が有り、しかたなく能登野近くの道路壁の階段を上り鹿よけネットの門扉を開けて杉林に入ると背丈ほどの笹が有るが、簡単に抜けられる。

しばらくは平坦だが右手の尾根に有る鉄塔に向かうと急坂になるが、第1鉄塔に乗ってしまうと自然林の多い歩きやすい尾根となる。第2鉄塔からは急坂となりつづら折れの荒れた道を歩く。

第3鉄塔は見晴らしがよく眼下に若狭の田園風景が広がる。ここから送電線から離れる。尾根が北東に曲がるがすぐに東向きに変わる。雰囲気のある歩きやすい尾根になると三方から高島市に抜ける鯖街道なのか、随分使い込まれた街道が現れる

P488.4を越えた辺りのピークから三方五湖や若狭の海が見える。右に見える蒼い山は雲谷山。楽しい自然林の尾根歩きが続いている。ススキがあり見事な枝振りの松の木があり、爽やかな風が尾根を吹き渡る。



しかし、電波塔跡の広場につくと重機の音がうるさくなる。広場の北尾根で工事が行われている。この広場から大日に至る尾根には索道が巡らされている。一応自然道は残されているが、三角点750.7mの「大日」に到着するが、直ぐ側で新たな鉄塔工事が行われて、一応登山者の迂回道は設備されているが、落ち着かないので早足で駆

け抜け、P784m の尾根に取り付くと豊かなブナ林が昔のままの姿で私達を迎えてくれたので一安心。深呼吸をして気持ちを鎮めてブナ林の静寂に包まれる。穏やかな気持ちの良い尾根を暫く歩くと P784 のわずかな膨らみ。全くピークらしくはないが、ここで少し遅いランチタイム。



ランチ後、ブナの巨木を探して 2 つのピークを越えて散策するが、記憶にあるブナの巨大木には出会えなかったが、門限？が近づいたので巨木群を見て P784m まで引き返し、西尾根を下る。ここも巨木が多く点在している気持ちの良い尾根道である。しかし、再び作業音が響き渡る。見ると巨大な鉄塔を新たに作る大工事現場が尾根を塞いでいる。登山者の予定がなかったのか迂回路を指示されなかったので、仕方なく崖をトラバースして林道に下って北上すると再び林道の工事現場で道が塞がれ立ち往生。「ここは危ないから通れないよ」と作業車の運転手「ここを通らんと元に帰れんのか。通るで〜」となんとか無理やり通行できたが、全く登山者は無視されている。怒りながら、電波塔跡の西にある元の尾根に辿り着き、下山にかかる。

下山路の最終地点、標高 170m の第 1 鉄塔からの下りはスマホの GPS は使えないので、慎重な読図で元の門扉を探さないと防護ネットから脱出できないので注意が必要。しかし、私達は 3 m の誤差でうまく門扉に到着した。

★コース相田 9:05＝第 1 鉄塔 9:25 発 28～第 2 鉄塔 9:44～第 3 鉄塔～488.4m10:32 発 37～電波塔広場 11:50～大日～784m12:25＝ブナ林巨木探し＝784m13:28～天増川林道 14:02～林道終点 14:45 発 50～488.4m15:20 発 39～第 3 鉄塔 15:37 発 39～第 1 鉄塔 16:07～登山口 16:23

★メンバー 三鍋・他 1 名